

ひごろ 日頃からの備えが、 たいせつ あなたと大切な人を守ります



7月28日、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生し、多くの方が被害を受けられました。
被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

災害は「いつか来るもの」ではなく、「いつ起きてもおかしくないもの」です。

私たちのまち湯浅町でも、日頃からの備えを見直してみませんか？

なぜ「備え」が必要なのでしょう？

災害が起きた直後は、電気・水道・ガス・交通などのライフラインが止まり、支援がすぐに届かない場合があります。

その時、いちばん頼りになるのは「自分自身」と「地域のつながり」です。

日頃の備えが、あなたや家族、そして地域を守る力になります。

今日からできる備えのポイント・チェックリスト

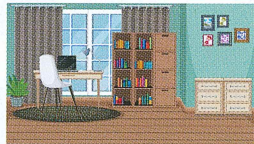


できていることにチェックしてみましょう

①家の中の安全を見直しましょう



家具の固定や、避難の妨げになるものを置かないなど、地震の揺れに備えましょう。



②生活に必要なものを備蓄しましょう



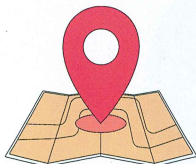
飲料水・非常食・常備薬など、最低3日分、できれば1週間分を目安に備えておきましょう。



③家族で話し合っておきましょう



避難場所や連絡方法、役割分担などを家族で確認しておくことで、いざという時に落ち着いて行動できます。



④ご近所とのつながりを大切に



日頃からあいさつを交わし、声をかけ合える関係が、災害時の助け合いにつながります。



災害時には、助け合いの力が必要です

一人でできることには限界があります。地域で支え合うことで、多くの命を守ることができます。

「困ったときはお互いさま」の気持ちで、地域のつながりを育てていきましょう。



事前ボランティア登録のご案内

湯浅町社協では災害が発生した時や緊急時にお手伝いいただける仲間を募集しています。



あなたの想いを災害時の「力」に変える事前登録制度です。



▲登録はこちらから▲